

繁栄のための不動産（建物資産）レジリエンス・パートナーシップ（RER4P）に関する G7 議長国フランスのイニシアティブ

不動産セクターのレジリエンス向上と脆弱性軽減を目指した新たなパートナーシップの発足。

我々は世界最大級かつ最も価値の高い不動産資産を保有していることを踏まえ、自国及び海外における住宅・非住宅建築物、関連する土地、インフラ、環境資産を含む建築環境が、様々な自然ハザードに曝されていることを認識する。これらの増大するリスクは、環境、国家及び世界の繁栄、そして社会的・経済的ウェルビーイング、特に最も脆弱なコミュニティにとって、重大な脅威となる。

我々は、これらの課題が本質的に学際的な性質を持ち、その影響が広範囲に及ぶことを確信している。さらに、環境、都市、建築、工学、産業、建設といった多様な分野における解決策を用いて、建築物、関連する土地、インフラ、及び環境資産を考慮しつつ、建物の曝露と脆弱性を適宜、防止・軽減するための共同行動を強化することは、経済的、社会的、文化的に極めて重要である。国及び地方レベルで既に対策や資源が動員されていることは承知しているが、利用可能な最善の科学に基づき、相乗効果を高め、知識や可視性、有効性、そして影響を最大化するための協力によって、これらの取組をより確固たるものにできる。

したがって、我々は G7 議長国フランスによる「繁栄のための不動産（建物資産）強靱化パートナーシップ（RER4P）」の発足を歓迎し、このオープンで包括的な新しいパートナーシップに対する共同支持を表明する。本パートナーシップは、公的・民間部門の代表者、パートナー、及び専門家、Urban 7 などのエンゲージメントグループ、関連する国際機関やプログラム、市民社会を含むあらゆるステークホルダーを結集するものである。

我々は、RER4PがG7内外における技術協力の推進に果たす価値を強調する。特に、国内データのアクセス性に関する意見交換や、自然を活用した解決策（NbS）を含むベストプラクティスの共有を展開していく。既存のイニシアティブや機関との相乗効果を高め、このパートナーシップを活用した私たちの共有経験が、環境保護、世界的な繁栄、そして人々のウェルビーイングに貢献すると確信している。